

赤十字みやざき



特集

2020年
予算号



あなたの、手となり、
ぬくもりとなり。

その手は、あなたの手だ。

そのまなざしは、あなたのまなざしだ。

そのぬくもりは、あなたのぬくもりだ。

支援してくださるあなたの、手となり、目となり、ぬくもりとなり、

私たちは、そこに行く。

医師が、看護師が、ボランティアが、そこで活動する。

私たちは、あなたの支援で動いている。

そう。支援してくださる、あなたも赤十字の仲間です。

寄付するあなたも赤十字です

www.jrc.or.jp



救いを託されている。

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。 赤十字運動月間 5.1(Fri) ~ 31(Sun)





ご存知ですか？

5月は「赤十字運動月間」です！

赤十字誕生から150年。アンリー・デュナンの意志を受け継ぎ、私たちはこれからも、救うことを続けます。

Jean Henri Dunant



5月と赤十字には、とても深いつながりがあります。

例えば、赤十字の創始者であるアンリー・デュナンの誕生日は5月8日であり、国際赤十字では彼の功績を称えて5月8日を世界赤十字デーと定めています。

また、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創立したのが5月1日であるため、日本赤十字社はこの日を創立記念日と

定めています。このように、5月は赤十字にとっても深い関わりのある月となっていることから、日本赤十字社は毎年5月を「赤十字運動月間」と位置づけ、災害や紛争等で苦しんでいる人々に寄り添う赤十字の「人道」の精神に対する理解を深めていただくため、様々なPR活動を展開しています。

(左写真)赤十字の祖アンリー・デュナン。後に、第1号のノーベル平和賞を受賞しています。



救急法等講習の普及

災害救援物資の備蓄

有事に備えた災害救護訓練 (昨年度の沖縄県での訓練の様子)

ボランティアの支援

防災教育の普及推進

赤十字に理解を示し、ご協力いただいた皆様の期待に応えるため、私たちは、将来起こりうる災害に備え、人々のいのちと健康を守るべく、あらゆる活動に取り組んでいます。

今年度は、九州八県の赤十字が宮崎県に集い、関係機関と連携しての「九州八県支部合同災害救護訓練」が11月に行われます。

それに伴い、非常用蓄電器の整備など、救護資機材の整備も予定しています。



これらの活動は、行政の補助を受けることなく、**全て皆様からの活動資金で運営されています！**

昨年度の主なPR活動



▲赤十字カラーにライトアップ@宮崎県庁



▲大型ビジョンでのCM放送@宮崎駅前

日本赤十字社宮崎県支部でも、県民の皆様へ赤十字について知っていただくため、様々なPR活動を行いました。

昨年5月12日には宮崎山形屋の四季ふれあいモールに赤十字体験コーナーを設置。救護服に着替えての写真撮影や救急車の乗車体験、クイズ形式のアンケートなどを行いました。



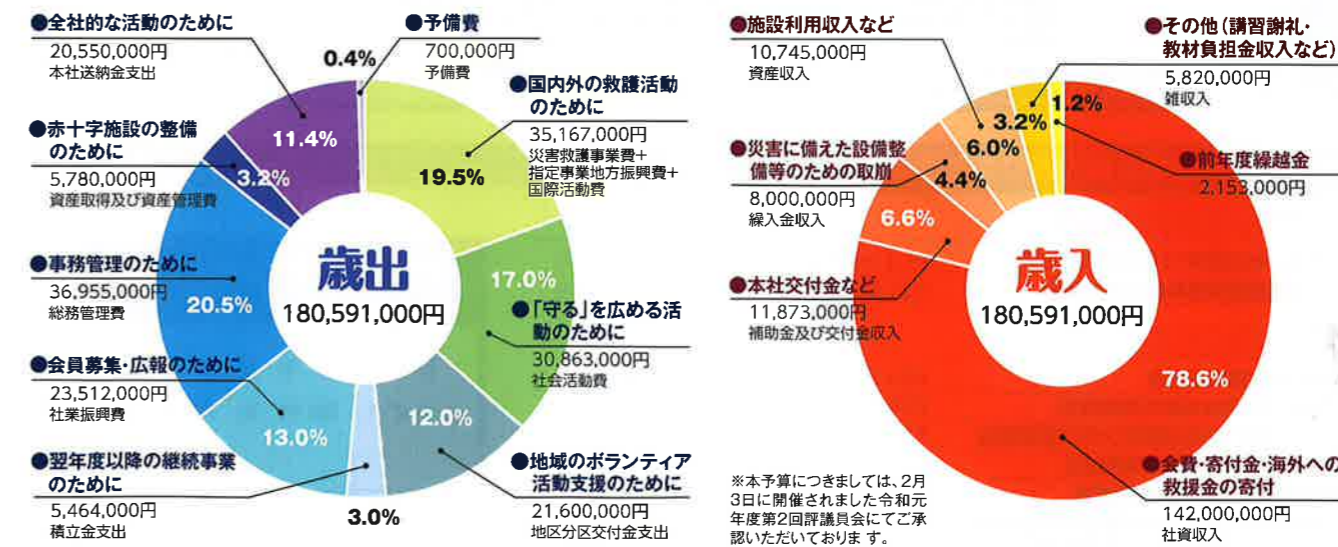
▲昨年のイベントの様子@宮崎山形屋

今年も、様々なPR活動を計画しています!!



2020年度 一般会計歳入・歳出予算

今年度も、様々な事業を予定しています。



皆様のご寄付が、私たちの活動を支えます！



献血計画

全血献血	
400mL献血	……30,367人
200mL献血	……142人
成分献血	
血小板成分献血	…3,596人
血漿成分献血	……8,693人
合計	……42,798人

令和2年度に宮崎県が必要とされる輸血用血液製剤とアルブミン製剤等の血漿分画製剤の原料血漿を年間を通じて過不足なく供給するために必要な献血者数を次のとおり定めました。宮崎県内の患者様に日々必要な輸血用血液製剤を確保するため、献血バス1台当たり400mL献血50人、献血ルーム1日当たり400mL献血14人、成分献血34人を目標にご協力をお願いしております。

近年の課題として、特に若年層（10代、20代、30代）の献血者確保、複数回献血者の増加、血漿分画製剤の原料血漿の確保を目指し、医療機関の需要に見合う献血者の安定的かつ効率的な確保に努めてまいります。

県民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

保健所	市町村	目標(人)				配車計
		200mL	400mL	成分	合計	
中央	宮崎市	0	8,895		8,895	177.0
	富野町	0	330		330	6.5
	綾町	0	170		170	3.5
計		0	9,395	0	9,395	187.0
日南	日南市	0	970		970	20.0
	串間市	0	340		340	7.0
	計	0	1,310	0	1,310	27.0
都城	都城市	0	5,000		5,000	94.5
	三股町	0	280		280	5.5
	計	0	5,280	0	5,280	100.0
小林	小林市	0	1,000		1,000	20.5
	えびの市	0	510		510	10.5
	高原町	0	190		190	4.0
計		0	1,700	0	1,700	35.0
高鍋	西都市	0	555		555	11.0
	高鍋町	0	580		580	12.0
	新富町	0	500		500	11.0
	西米良村	0	80		80	2.0
	木城町	0	100		100	2.0
	城南町	0	330		330	7.0
	都農町	0	150		150	3.0
計		0	2,295	0	2,295	48.0

保健所	市町村	目標(人)				配車計
		200mL	400mL	成分	合計	
日向	日向市	0	1,435		1,435	29.0
	川町	0	290		290	6.0
	三郷町	0	110		110	2.5
	諸塚村	0	60		60	1.5
	椎葉村	0	75		75	2.0
計		0	1,970	0	1,970	41.0
延岡	延岡市	0	2,900		2,900	57.0
	計	0	2,900	0	2,900	57.0
高千穂	高千穂町	0	275		275	6.0
	日之影町	0	80		80	2.0
	五ヶ瀬町	0	80		80	2.0
計		0	435	0	435	10.0
移動献血車計		0	25,285	0	25,285	505.0
献血ルーム		142	5,082	12,289	17,513	363
合計		142	30,367	12,289	42,798	868



人事異動のお知らせ

※役職付き以上のみ（退職者除く）

宮崎県支部	※4月1日付	転出 転入 配置換え	血液センター 総務課長 総務課長(兼)組織振興係長 事業推進課 事業推進係長 事業推進課長 総務課 総務係長	清田 雅 (総務課長(兼)総務係長) 甲斐 寿 (血液センター 献血推進課長) 草勝 美 (血液センター 橋通出張所 管理係長) 大栗 豊 (事業推進課長(兼)事業推進係長) 富永 裕 介 (総務課 組織振興係長)
宮崎県赤十字血液センター	※4月1日付	転出 昇任 配置換え	大阪府血液センター 事業部長 事業副部長(兼)学術情報・供給課長(兼)学術係長 採血課 採血一係長 学術情報・供給課 供給二係長 橋通出張所 管理係長 献血推進課長 橋通出張所長 延岡供給出張所長 医薬品営業所管理者 献血推進課 推進係長 学術情報・供給課 供給一係長 採血課 採血二係長 橋通出張所 採血係長 調整監	池田 史子 (採血課 採血二係長) 大西 公人 (事業副部長(兼)総務課長) 押川 秀次 (学術情報・供給課長(兼)学術係長) 根久美子 (橋通出張所 看護師) 杉一 浩 (献血推進課 主事) 井上 恭一 (学術情報 主事) 竹田 幸徳 (延岡供給出張所長(兼)管理係長) 高井 賢典 (事業部付課長) 野良 典司 (橋通出張所長) 児玉 智恵 (学術情報・供給課 供給一係長) 金丸 善彦 (学術情報・供給課 供給二係長) 永友 堯舜 (献血推進課 推進係長) 実宏 けい子 (橋通出張所 採血係長) 林田 直美 (採血課 採血一係長) 元日田 勉 (事業部長)
	※3月31日付	退職	事業部長 献血推進課 主事	元日田 勉 (定年退職) 長田 直樹



義援金・救援金のご協力ありがとうございます

受付終了		
令和元年台風第15号東京都義援金	R1.9.30~R2.2.29	185,840円
北海道胆振東部地震災害義援金	H30.9.11~R2.3.31	7,278,331円
受付中 (R2.3.1現在)		
東日本大震災義援金	H23.3.14~R3.3.31	652,596,917円
平成28年熊本地震災害義援金	H28.4.15~R3.3.31	155,206,581円
平成29年九州北部豪雨大雨災害義援金	R1.9.30~R3.3.31	13,766,705円
平成30年7月豪雨災害義援金	H30.7.10~R2.6.30	56,174,039円
令和元年8月豪雨災害義援金	R1.9.2~R2.8.31	1,196,798円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	R1.9.18~R2.6.30	1,026,773円
令和元年台風第19号災害義援金	R1.10.16~R3.3.31	17,613,487円
中東人道危機救援金	H27.4.1~R3.3.31	4,265,486円
バングラデシュ南部避難民救援金	H29.9.22~R3.3.31	93,945円

香典返しを寄せられた方々
(R1.12.1~R2.2.29)

延岡市 甲斐 宮子 様
都城市 (故) 竹内 和雄 様

※順不同

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
ご遺志に沿い赤十字事業に有効に活用させていただきます。



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社宮崎県支部

検索